

保護者の皆様

成美放課後児童クラブ 運営部



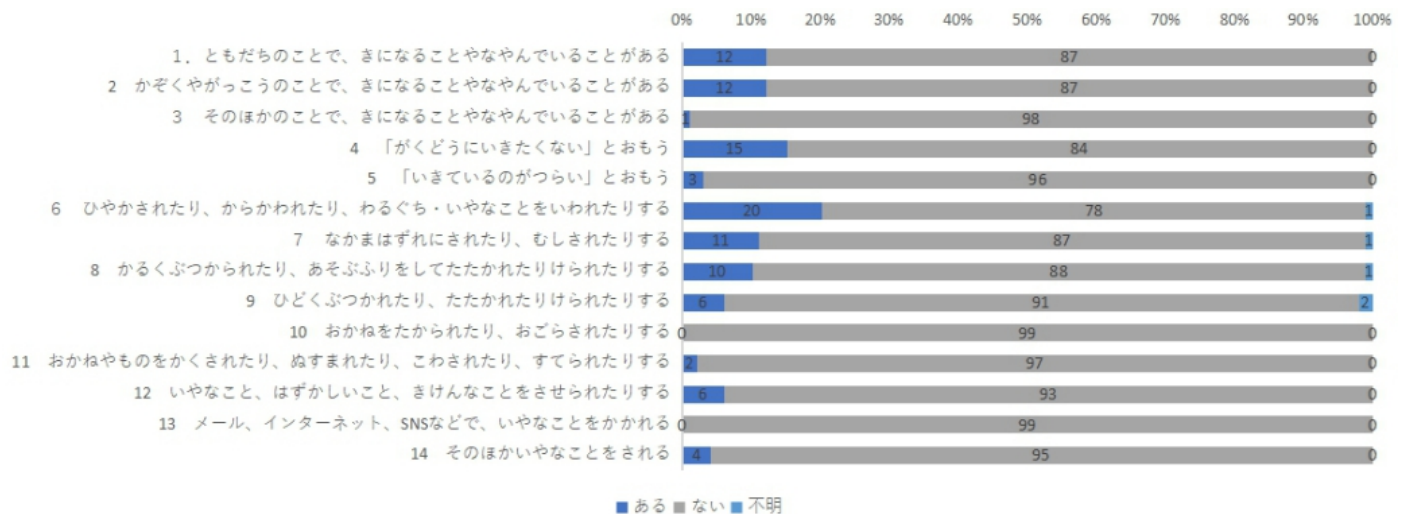
令和 4 年 11 月いじめ防止強化月間 アンケート集計結果

先般は「学童生活アンケート（児童用）」および「サイン発見チェックシート（保護者用）」にご協力をいただき誠にありがとうございました。アンケートの期限内回答率は「学童生活アンケート（児童用）」（全 114 名に配布）が 86.8%、「サイン発見チェックシート（保護者用）」（全 96 世帯に配布）が 86.5%（どちらも小数第二位以下四捨五入）でした。集計対象は、提出期限内に回答のあったアンケートすべてです。この集計結果は「いじめ防止強化月間」の取組として、三重県教育委員会にも提出致します。

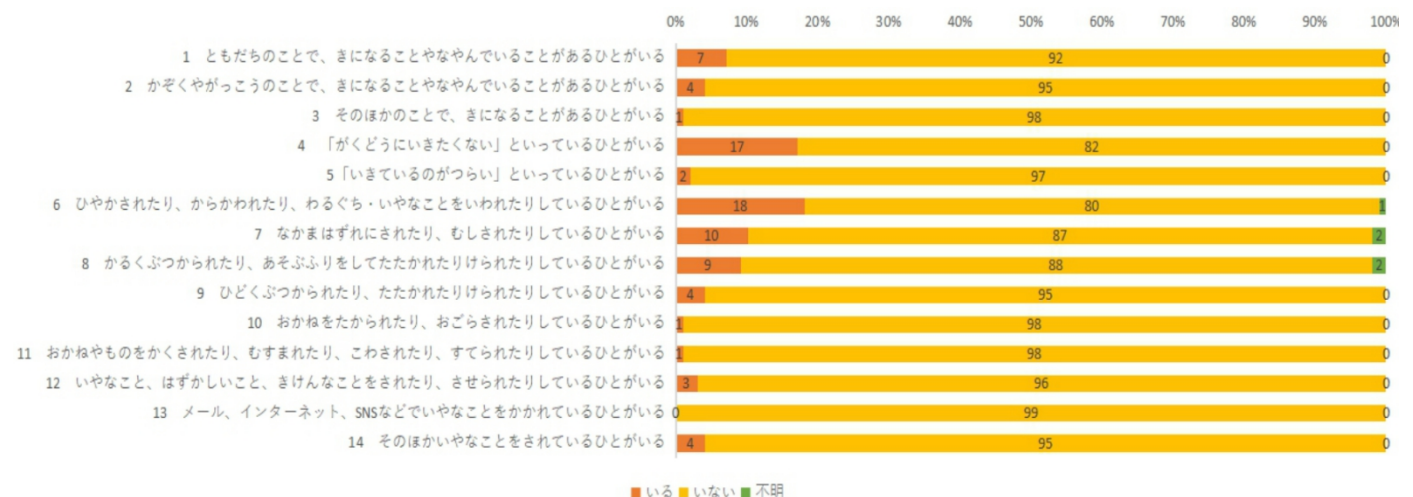
「学童生活アンケート（児童用）」について

（※横軸の合計数は、全提出 99 名分）

1. じぶんのことについて



2. まわりのひとのことについて



このアンケートでは、児童に「学童でのことで当てはまるもの」に○をつけて回答してもらいました。その結果、「1. じぶんのことについて」および「2. まわりのひとのことについて」において、項目13以外は、すべて1名以上が該当ありとする結果が出ました。

それぞれ回答数が多かったものは以下のとおりです。

「1. じぶんのことについて」

- ① 「6. ひやかされたり、からかわれたり、わるぐち・いやなことをいわれたりする」(20件)
- ② 「4. がくどうにいきたくないとおもう」(15件)
- ③ 「1. ともだちのことで、きになることやなやんでいることがある」(12件)
- 「2. かそくやがっこうのことできになることやなやんでいることがある」(12件)

「2. まわりのひとのことについて」

- ① 「6. ひやかされたり、からかわれたり、わるぐち・いやなことをいわれたりしているひとがいる」(18件)
- ② 「4. がくどうにいきたくないといっているひとがいる」(17件)
- ③ 「7. なかまはずれにされたり、むしされたりしているひとがいる」(10件)

いじめ防止法のいじめの定義は、いじめ被害者の主観を基準としています。そのため、ふざけ合い・冷やか・からかい・いじり等も、いじめ被害者が心身の苦痛を感じれば「いじめ」になります。アンケート結果では、ともに①が最多となりました。②については、ご家庭でもその理由とお子様の本音を知っていただくところを解決の糸口にしていただきたいと思います。学童は、ルールを守って楽しく遊んでいただける環境整備を今後も継続していきます。今回は記名アンケートということもあり、児童一人ひとりがどのようなことを感じながら学童で生活しているかを振り返るきっかけとなりました。普段の様子と照らし合わせ、今後の経過や変化にも注視を続けていきます。

「サイン発見チェックシート（保護者用）」について

言葉では伝えられなくても、「いじめ」があれば毎日の生活の中に、これまでと違った行動や態度などが現れます。（※横軸の合計数は、全提出83世帯分）

「あれ？」もしかしてと思ったら・・・

- 子どもにとって良き相談相手になってあげましょう。気持ちを受け入れてあげることが大切です。
- 様子がおかしくても、問い詰めたり、結論を急いだりしないようにしましょう。
- 何があっても「守り抜く」「必ず助ける」ことを真剣に伝えましょう。
- いじめている人が悪く、いじめられている人は悪くないと伝えましょう。
- 子どもに次のようなことは言わないようにしましょう。

「無視なさい」「大したことではない」「あなたにも悪いところがある」「いじめられる方が悪い」「弱いからいじめられる」

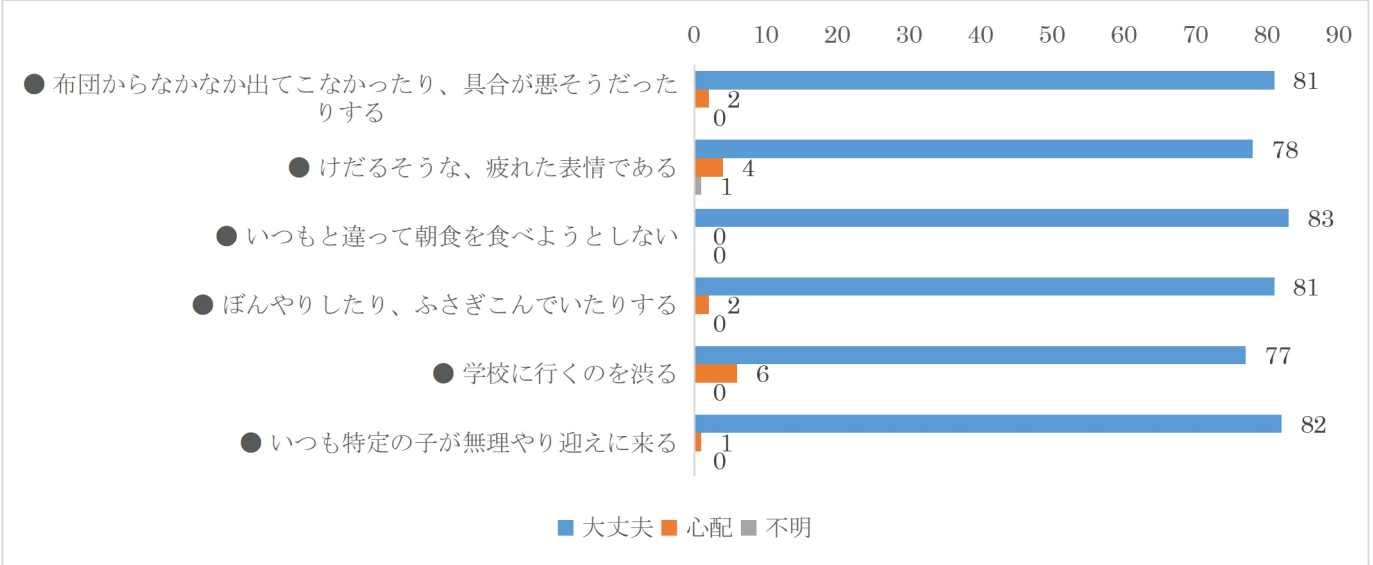
特に注意が必要なのは・・・

- クラス替えなど環境の変化。
- 休み明けの変化を見逃さないこと。（長期休み明け、日曜から月曜にかけて等）

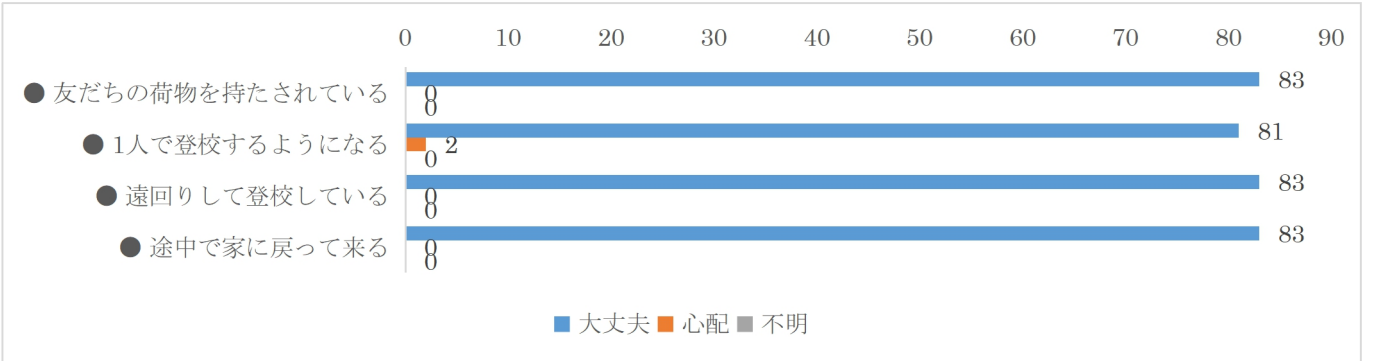
「いじめる側」になると・・・ 次のようなサインが出ていることがあります。

- 言葉遣いが荒くなる。言うことをきかない。人のことをばかにする。
- 買ったおぼえのない物を持っている。
- 与えたお金以上のものを持っている。お小遣いでは買えないものを持っている。

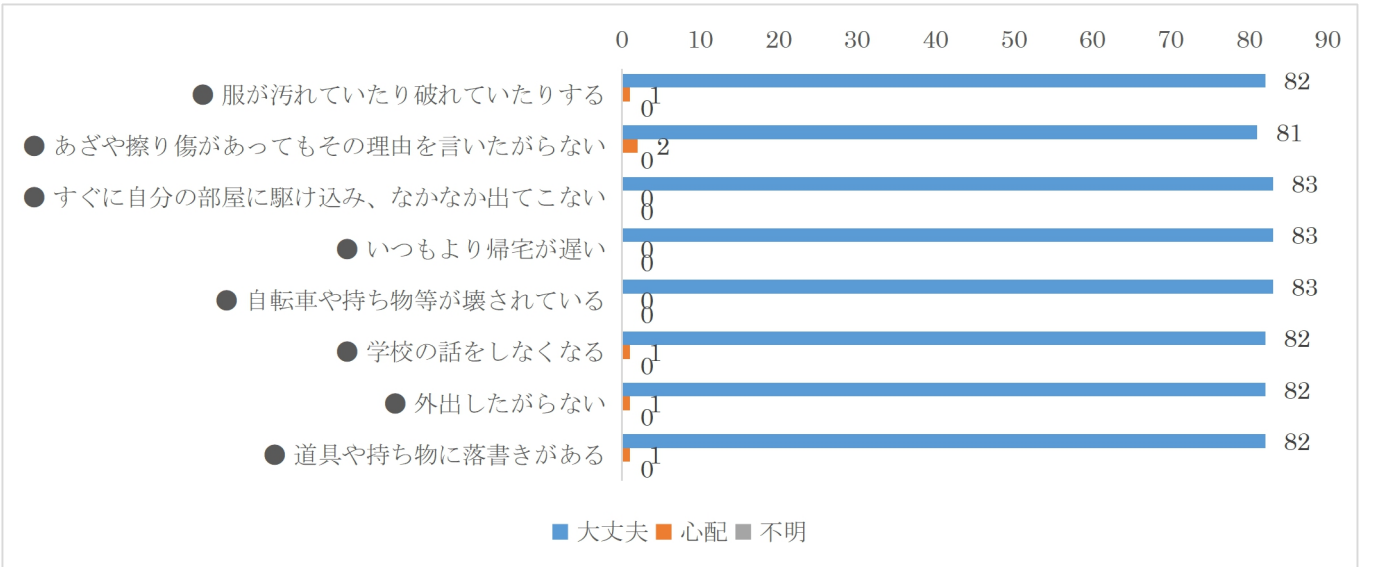
1. 起床から登校前



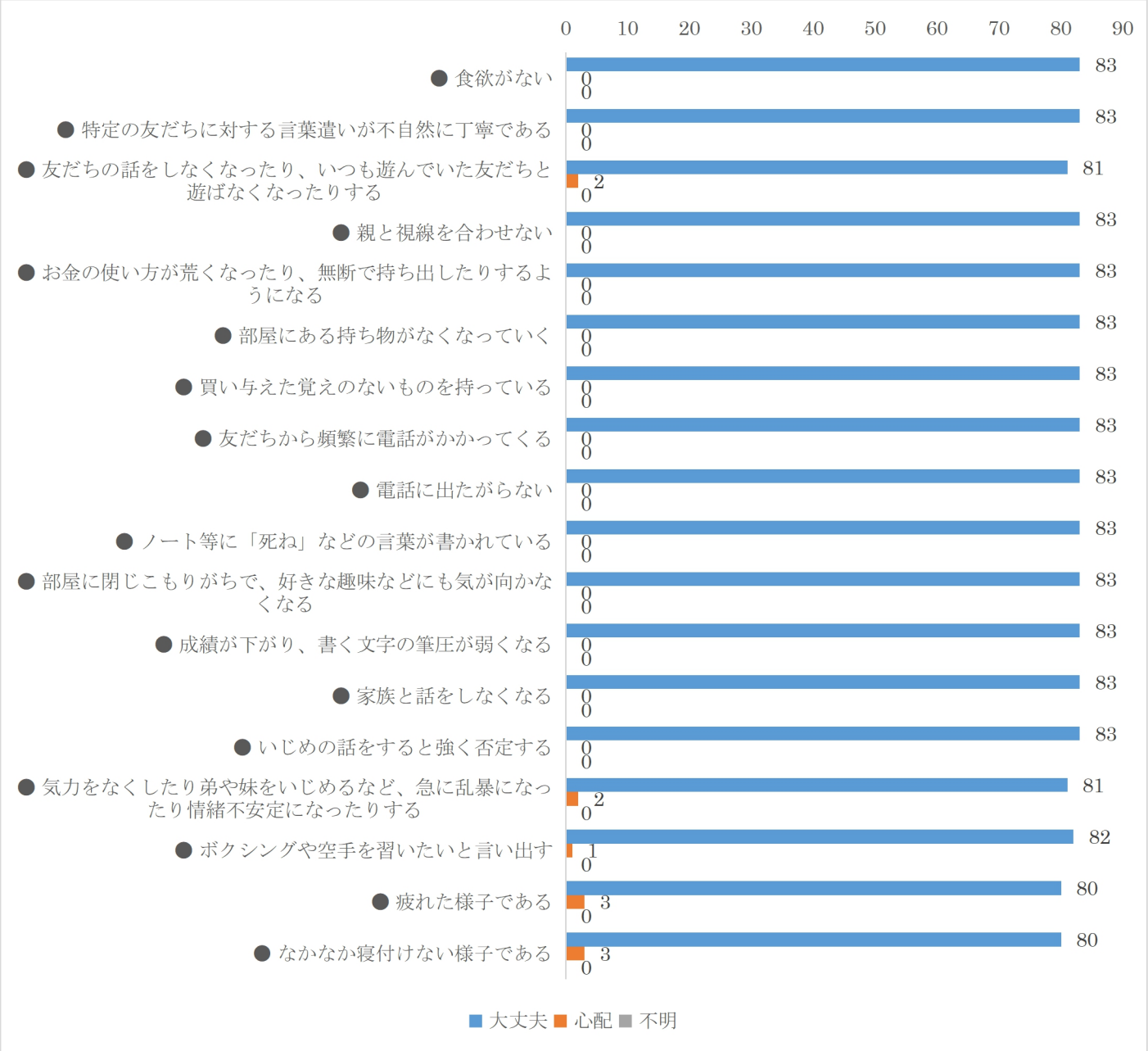
2. 登校中



3. 帰宅時



4. 夕食時から就寝まで



アンケートの「その他気になること・相談等」には、次のような回答をいただきました。（※ 個人特定防止・プライバシー保護のため一部表現を変えて掲載しています。）

- ・言葉遣いが悪くなったように思う ・きつめの言葉をつかっていないか ・きつい言葉で言われる ・言い返すともっと怒ってくる
- ・いじめている側にならないか心配 ・言葉遣いが悪いので、友だちや上級生へのコミュニケーションが心配
- ・一時友だちに「嫌い」と言われ落ち込んでいた ・一緒に遊んでもらえなかったと言うことがある ・名前でからかわれたりする
- ・仲間に入れてもらえなかったり他の子が仲間に入れてもらえなかったりという話を聞く
- ・自分がしたいことをしようとすると怒られたり叩かれたりする ・服を隠されたことがある
- ・「今日学童にあの子いるかな…」と心配することがある ・夜ドキドキして眠れないことが何日もある 等

いじめの認知件数は、特に小学校で増加が顕著です。（令和元年調査結果による）小学校でみると、13. 2 人に 1 件のいじめが認知されたことになります。これは学童全 114 名に換算すると年間に平均約 8. 6 件のいじめが認知されるに相当します。いじめ問題においては、早期発見と早期対応が最も重要です。今後もしじめ根絶に向け社会総がかりで取り組みたいと思いますので、保護者の皆様にもご協力をお願い致します。

＜参考文献＞
井口博（2021）『教育・保育機関におけるハラスメント・いじめ対策の手引』新日本法規
森田洋司（2014）「保存版いじめのサイン発見シート」政府広報 文部科学省